## 令和3年度 大分教育事務所 所長通信

# 2021「山ちゃん通信」No,113

2021, 9, 29

文責:山香 昭

#### 大分教育事務所訪問 72

## 大分市立鴛野小学校に学ぶ

# 「ありがとう」と言える人 「ありがとう」と言われる人になろう!

### 学校経営から学ぶ

学校の教育目標「思いやりの心で協力し、主体的に学ぶ、たくましく 活力のある子どもの育成」を達成するために、「3部会・各主任」と「学 年部・低中高部会」を中心にミドルアップダウンマネジメントを活用 して学校運営を行っています。そして、「教師が変われば子どもが変わ る。子どもが変われば、学校が、保護者、地域が変わる」と、先ずは教 師が率先垂範をしています。

今後は、協議の中で確認した「勉強することを面白いと思えるため に、考える力、議論ができる力」等、目指す子ども像を達成するため に、子ども達に「学校として育成を目指す(教科横断的な)資質・能 カ」を明確にしてはいかがでしょうか。



拍手には「がんばれ」「すご いよ」「私と同じだね」等の メッセージがある。だから、 拍手のあるクラスは温かい。

※参考資料「小学校学習指導要領解説 総則編 P47 2教科等横断的な視点に立った資質・能力 例:ア 言語能力」

そのことで、職員のベクトルが揃いやす くなり、3部会と学年部の協働的な取り組 みやカリキュラム・マネジメントが推進さ れると思います。また、学校経営計画表の 各取組指標は、どの「資質・能力(3本柱)」 を育てるために行うのかを明確にするこ とで、教職員や保護者・地域の方との共通 理解が推進されると思いました。

このように、教職員や学校関係者の上位 目標の理解がすすむと、方法(取組)は担 当者に任せることができ、それぞれの当事 者意識がより高まり、教職員だけでなく、子ども自身の意識も高まると思いました。



# んけん

思わず前のめりになっている のは、自分の力で解いてみた いから。課題を発見したから。



応援してくれる友達が、協力 してくれる仲間がいるから、 恥ずかしいことはない。

### 授業から学ぶ

「子どもと教師に『幸福』をもたらす研修の創造」を目指し、校長先生自ら研究通 信を発行し、基礎から実践の在り方について周知しています。どの子ども達も学びに 向かっており、特に6年生の学ぶ姿は印象的でした。また、特別支援教育にも力を注 ぎ、特に支援学級の教室環境や、達成感を感じさせる指導の在り方は見事でした。

今後は、授業の「振り返り」には、子どもがどのような事を書くのか、どんな姿に なったら良いのか等、教師が願う具体的なゴールの姿を「子どもを主語」として記入



してみてはいかがでしょうか。そのことで、「ねらい」との連動や評価規準がより明確になり授業 力がより向上すると思いました。